

第10回「ながやま子どもの水辺協議会」が去る2月5日(木)、川のみさと交流館「さらら」2階多目的研修室において開催されました。

## 主な意見交換

意見交換では、魅力ある川づくり、拠点施設の多様な利用、地域協働など、様々なテーマで意見が交わされました。



座長を務める加藤氏

## さらら館を拠点とした取組について

- 現在、事務局では平成20年度のさらら館を拠点とした取組を検討しています。また取組の実施案と講師の一覧を作成しました。ご意見・ご要望などございましたらお聞かせください。
- さらら館や永山新川周辺の環境は本当に素晴らしいと思います。例えば小学校の遠足のときに、さらら館に立ち寄り、水生生物調査や川下りなどを行うと良いと思います。
- さらら館としましても、事前に連絡をいただければ、できるだけ職員が対応したいと思います。
- 今年度、永山地区の小学校の先生を対象とした「ぐるっと永山見てある記」を開催しましたが、大変好評でした。他の地区から赴任された先生は永山について詳しく知らない方がほとんどでしょうから、できるだけ多数の先生に参加していただき、総合学習に生かしていただきたいと考えています。
- 大人数の参加を前提としたイベントを開催する場合、さらら館までの交通アクセスはどのようにお考えですか？
- 自転車に来る子どももいますが、基本的には路線バスを利用しています。バスに収容できないほどの大人数となれば、バス会社に増車を依頼することも可能です。
- どのようなイベントを行うにしても、土曜日・日曜日に行くことが多くなりますが、事務局で大学生ボランティアを20名程度確保してありますので、職員と合わせて対応していきたいと考えています。また、ボランティアの講習・教育も随時行っています。
- 子どものころに川で遊んだことでよく覚えているのは、炊事遠足なのですが、最近の小学校ではあまり行われていないようですね。炊事遠足を開催すれば、子供たちも喜びます

- し、良い思い出になるのではないのでしょうか。
- さらら館周辺は炊事遠足を行うのに良い環境だと思いますが、水道やトイレの確保が問題ですね。特に炊事に使う水はわき水を利用するとしても、水質調査を慎重に行わなければならないでしょう。
- 旭橋周辺では川に囲いをして、マスを放し、釣りをするイベントが新聞販売所の企画で行われており、とても楽しく、盛り上がっています。今は子どもばかりか、若い親世代も釣りの経験がない方も多いため、さらら館でもやってみたらどうでしょうか。
- 実は一昨年まで同じような釣り大会を開催していたのですが、昨年からは辞めました。理由は手伝っていただいていたボランティアの方々の高齢化や他のお祭りなどのイベントとの兼ね合いなどです。ただ、子どもの水辺協議会で取り組むのであれば、ぜひ開催したいと思います。
- 今回いただいたご意見や、現在考えている案を元に、各案の組み合わせや改良、講師の方の都合なども含め、事務局で来年度の取組を検討していきます。

## 子どもクラブの組織について

- 前回、第9回子どもの水辺協議会で子どもクラブを組織したらよいのではというご意見をいただきました。子どもクラブの募集や組織、運営など、ご意見がありましたらお聞かせください。
- 子供クラブの目的を明確にしないと、なかなか活動方針も見えてこないのではないのでしょうか。ただ数年活動していけば、高学年の子どもが低学年の子どもに教えてあげることができて、人材育成の場としてよいと思います。
- 大人から子どもたちにやることを与えてやらせるだけでなく、子どもたちの中から指導者やリーダーといった子どもが成長して、子どもたちが自主的な活動ができるクラブになるといいですね。
- 現在永山地区で子ども会のような組織は他にありませんし、子どもたちに川での活動の場を与えてあげることが意義のあることだと思います。
- 近年の少子化の影響で、小学校によっては一学年で野球チームを編成することさえ難しくなっているのが実情です。また、習い事や塾に通う子どもも多く、特に土曜日は多忙な子どもが多いです。
- まずは少人数を集めて、その子どもたちにいろいろな指導をしていき、2年目以降はその子どもたちが核となって、自主的に企画・計画を立てていけるようになると面白いですし、子どもの自主性を伸ばす上でも良いのではないのでしょうか。

- 最初に集まった子どもたちが、子どもクラブでの活動が面白いと思えば、口コミで広まって、次年度以降の応募も自然に増えると思います。
- 募集の対象としては、水のめぐみ体験学校の応募にもれた親子にまず声をかけてあげたら良いと思います。
- 水のめぐみ体験学校に数年続けて参加しているリピーターの親子が何組かいるので、彼らにも何らかのサポートをお願いしてみるのも良いと思います。
- まずは試行という形ででもやってみるべきだと思います。その上で改善や修正を加えていくようにすれば良いと思います。
- 募集人員や募集方法などを事務局で細部まで検討し、子どもクラブの結成を前向きに考えたいと思います。



旭川市立永山東小学校の  
外山校長



旭川開発建設部の  
一条課長補佐



旭川市土木部公園みどり課  
の惣伊田課長



NPO 法人永山の  
佐藤氏



水辺施設や施設利用、子どもクラブの組織について、様々な意見が交わされました。